

平成 18 年 11 月 22 日

各 位

会社名 シダックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 志太 勤一
 (JASDAQ コード番号 4 8 3 7)
 問合せ先 取締役 経理財務本部長 兼 IR 担当
 荻野 裕
 (TEL . 0 3 - 5 7 8 4 - 8 9 0 9)

平成 19 年 3 月期中間期 (連結・単独) 業績予想の修正について

平成 19 年 3 月期中間期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日) の業績予想について、平成 18 年 8 月 11 日付当社「平成 19 年 3 月期 第 1 四半期 財務・業績の概況 (連結) 」及び平成 18 年 5 月 22 日付当社「平成 18 年 3 月期 個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1 . 平成 19 年 3 月期 (連結) 業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円、%)

	連結		
	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	80,000	2,600	500
今回の修正予想(B)	80,286	3,232	218
増減額 (B - A)	286	632	718
増減率 (%)	0.4%	24.3%	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期中間期)	79,071	2,451	770

(2) 修正理由

売上高につきましては概ね計画通りに推移いたしました。利益面につきましては、エスロジックス事業が全国物流拠点の展開と統一食材・標準メニューの進捗により計画を上回る利益貢献を果たすことが出来ました。また、レストランカラオケ事業における店舗運営経費と当社販管費の適正化による経費削減が順調に進みました。この結果、経常利益及び当期純利益はそれぞれ 3,232 百万円及び 218 百万円となり、それぞれ 632 百万円及び 718 百万円増加する結果となりました。

下期は、上期に買収したレストラン業態がグループ全体の付加価値向上に寄与することで総合フードサービス企業として着実に前進するターニングポイントとなります。また、同時に食の安心・安全を担う企業としてより一層の安全衛生管理体制の構築を目指し、お客様の信頼を獲得する努力を行います。

2. 平成19年3月期(単独)業績予想の修正

(1) 中間期(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	単独		
	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,700	2,500	2,400
今回の修正予想(B)	4,994	2,728	2,534
増減額(B-A)	294	228	134
増減率(%)	6.3%	9.1%	5.6%
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期中間期)	4,211	1,832	1,535

(2) 修正理由

販管費の適正化が一層進捗したことで、計画を上回る経費削減が達成できました。
これを主な要因として、経常利益及び当期純利益はそれぞれ2,728百万円及び2,534百万円となり、それぞれ228百万円及び134百万円増加する結果となりました。

平成19年3月期通期(連結・単独)の修正はございません。

(注)上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上